

包括外部監査の結果及び意見について(令和 4 年度)

資料5

「監査の結果及び意見の区分」について

監査の「結果」（地方自治法第252条の37第5項）とは、「事務の執行」における合規性（適法性と正当性）の観点から是正・改善を求めるもの

監査の「意見」（地方自治法第252条の38第2項）とは、監査の「結果」には該当しないが、合規性や経済性、効率性、有効性の観点から見て、不合理な事項等を発見した場合に、市の組織及び運営 の合理化に資するために述べる見解のこと

「参考意見」は、合規性や経済性、効率性、有効性の観点から見て、明らかに不合理とまでは言えないが、今後の市の組織及び運営の合理化に資するために参考になると考えられる事項について記載したもの

対象施設	監査の結果及び 意見の区分	結果・意見
吹田市歴史文化まちづくりセンター（浜屋敷）	参考意見	<p>浜屋敷・南山田市民ギャラリー参考意見 「応募資格の見直しを検討することが望まれる。」</p> <p>指定管理者制度の目的は、多様化する住民ニーズにより効果的・効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上と経費の節減等を図ることである。この目的に照らすと、広く応募者を募るためにも、基本的には応募者の範囲を狭めるような資格を定めるべきではない。</p> <p>吹田歴史文化まちづくりセンター、南山田市民ギャラリーについては、条例で指定管理者は「市民で組織される営利を目的としない団体」と定められている。これは、吹田歴史文化まちづくりセンターは、郷土史を大切にし、歴史文化の伝承・発展に取り組む施設という特色があることや、南山田市民ギャラリーは、地域施設や教育機関との連携という役割も担うことが求められる地域性の強い施設であるとの状況を踏まえたものである。</p> <p>しかしながら、指定管理者制度の導入から一定程度の期間が経過し、制度が定着する中で、応募団体が吹田市民を中心に組織される団体でない場合であったとしても、吹田市の歴史文化を通じた交流や地域文化振興の考え方を有するかどうかを評価することで対応し得るし、「営利を目的としない」という点についても、指定管理料の基礎となる費用積算の結果として、営利を目的としてもなお効率的な管理運営が可能な団体であれば指定管理者に選定しても問題ないと考えられる。</p> <p>いずれの施設についても指定管理者制度が導入されて以降、1団体のみが指定管理者に選定されている状況が継続しており、公募制による競争原理が働いていないという課題がある。そのため、広く応募者を募ることで、市民サービスの充実や競争原理が働くような環境作りを行うことも検討する余地があると考える。</p>
南山田市民ギャラリー		